



おしどり調剤薬局(有)社長

宇田 勲氏

う だ いさお

表紙の顔

新芽野菜で病気予防

「薬局が栽培した話題の新芽」としてブロッコリーの新芽（スプラウト）を鳥取県日野町下菅で栽培し、山陰両県で販売を始めた。シャキシャキした糸状の新芽野菜を「病気にならないための食材」と強調する。

高校卒業後の1962年、武田薬品工業（株）に入社。研究員で採用されたが、自ら営業職へ転向を希望。鳥取県内などの病院、薬局担当を30年務め、日野病院（日野町野田）の移転新築に伴い、2000年に郷里で薬局を開いた。

話し相手が医師、薬剤師から地元のお年寄りに代わり「畑があっても子ど

もたちの食生活に合わせて野菜を食べず、お年寄りの野菜不足を痛感した」。手軽に生食でき、栄養価も高いブロッコリーのスプラウトを知り、新ビジネスにチャレンジ。なじみの薄い商品のため、自ら店頭で試食販売。「病院も薬も必要だが、健康維持はまず食べ物と自然治癒力」

「営業をしていたころは人から情報が得られたが、今はインターネットが頼り」と医療、健康関係のホームページを毎日3時間見るのが日課。鳥取県淀江町佐陀。61歳。